

# 都市環境工学専攻

## I. 志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で、第1志望のみを選択すること。

志望区分	研究内容 (担当教員)  (2022年10月現在)
1	環境デザイン工学、都市代謝工学、環境装置工学、資源循環科学、有害化学物質制御 (高岡昌輝教授・大下和徹准教授)
2	環境衛生学、環境予防医学、 環境予防工学(環境化学物質・大気汚染物質等の健康リスク評価、評価手法および予防・軽減手法の開発) (高野裕久教授)
3	水環境工学、環境微生物工学、水処理工学、水・資源循環システム、水環境管理 (藤原拓教授・日高平講師)
4	環境リスク工学、環境リスクマネジメント、土壌・地下水汚染制御、汚染物質環境動態モデル解析、 放射能環境汚染対策、環境中病原微生物モニタリング (米田稔教授・島田洋子准教授)
5	大気・熱環境工学、地球環境シミュレーション、統合評価モデリング、気候変動緩和策分析、 気候変動影響分析、環境政策評価、環境経済分析 (藤森真一郎准教授)
6	都市衛生工学、環境ヘルスリスク制御工学、高度浄水処理工学、飲料水質のリスクマネジメント、 上水道システムのトータルデザイン (伊藤禎彦教授)
7	環境質管理、統合的流域管理、環境微量汚染物質の検出・挙動把握・毒性評価・排出制御、 水環境天然有機物の特性解析、土壌・地下水汚染・浄化 (清水芳久教授・松田知成准教授)
8	環境質予測、環境汚染物質及び病原微生物のモニタリング・制御・影響評価、水の再利用、 雨天時排水管理、水域生態系保全、汚染源の推定と管理 (西村文武准教授)
9	環境保全工学、リサイクルシステムと廃棄物管理、循環型社会システム、教育研究機関の環境安全管理 (平井康宏教授・矢野順也准教授)
10	安全衛生工学、労働衛生学、粒子状物質や化学物質の曝露評価、安全工学、安全衛生マネジメント (橋本訓教授・松井康人教授)
11	放射能環境動態、環境中での放射性・安定同位体の分布挙動の研究 (藤川陽子准教授)
12	放射性廃棄物管理、原子力技術の安全性研究及び有害物質の環境中での移行挙動の研究 (福谷哲准教授)
13	環境調和型産業論、流域水環境管理論、沿岸生態系保全、有害微量化学物質管理、途上国水環境衛生、 資源回収・循環 (越後信哉教授・田中周平准教授)

【注1】 志望区分1~12は、入学後の教育プログラムとして、博士課程前後期連携教育プログラム(融合工学コース：人間安全保障工学分野)、博士課程前後期連携教育プログラム(高度工学コース)、修士課程教育プログラムのうちから一つを選択できる。志望区分13については、連携教育プログラムの設定はない。

## II. 募集人員

2023年度4月期入学および2023年度10月期入学ともに若干名

※融合工学コース「人間安全保障工学分野」の履修を希望する者は、入学時期を2023年度4月期あるいは2023年度10月期のいずれかから選択することができる。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。該当者はインターネット出願システム上で、4月期入学と10月期入学のいずれかを選択すること。

### Ⅲ. 出願資格

京都大学大学院工学研究科 2023 年度修士課程外国人留学生学生募集要項（以下「募集要項」と略す）4 ページを参照。

### Ⅳ. 学力検査日程

2023 年 2 月 13 日（月）		
時間	試験科目	試験室
9:00 ~ 12:00	筆記試験	桂キャンパス C クラスター C1 棟 173 号室(1 階)、他
2023 年 2 月 14 日（火）		
9:00 ~ 17:00	口頭試問	桂キャンパス C クラスター C1 棟 152 号室(1 階)、他

※ 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野志望者の試験日時および試験室については別途通知する。

#### 【学力検査に関する注意事項】

- (1) 試験開始時刻 10 分前までに試験室前に集合すること。なお、口頭試問の場合は、受験者控え室（桂キャンパス C クラスター C1 棟 107 号室(1 階)）に集合すること。
- (2) 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- (3) 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り及び消しゴムに限る。
- (4) 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- (5) 筆記試験受験に際して、電池式の小型卓上計算機を必要とする場合があるので、プログラム機能を有しないものを持参すること（取扱書の持ち込みは不可）。
- (6) 口頭試問では、コンピュータと接続可能なプロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。
- (7) 各試験科目の試験室、口頭試問の時刻など、詳細は事前に、桂キャンパス C クラスター C1 棟 191 号室（1 階、大講義室）西側廊下の専攻掲示板に掲示するので注意すること。

### Ⅴ. 入学試験詳細

#### (1) 英語 (200 点/1000 点)

TOEFL、TOEIC、IELTS または学部英語の成績により評価する。手続き等、詳細については、下記の【英語の学力評価について】を参照。

#### 【英語の学力評価について】

- TOEFL の都市環境工学専攻が指定する Institution Code : C121 により、2023 年 2 月 3 日（金）までに工学研究科都市環境工学専攻に提出された受験者成績書（「Test Taker Score Report」または「Examinee Score Report」）、TOEIC の公式認定証(Official Score Certificate)または IELTS の成績証明書 (Test Report Form) の成績（ただし、2021 年 2 月 3 日以降に実施された試験に限る）もしくは学部英語の成績により英語能力を評価する。
- 上記の成績証明書を提出した場合は、その成績に基づく評価と学部英語の成績に基づく評価の良し方を英語の得点とする。
- TOEFL については、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可）、TOEIC については公式認定証、IELTS については、成績証明書（以下、これらを成績証明書と略す）を提出する場合は、2023 年 2 月 3 日（金）の午後 5 時までに、「京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻 入試担当）」に提出または郵送しなければならない。
  - TOEFL の場合は TOEFL-iBT(internet-Based Test)(Special Home Edition, Home Edition を含む)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC 公開テストの成績証明書のみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効なので注意されたい。TOEFL のスコアにおいて MyBest™スコアは認めない。

- ・ TOEIC と IELTS の成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。ただし、成績証明書の送付に遅延がある場合、ウェブサイトに表示される成績を印刷したものの提出を TOEIC および IELTS についても認める。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
- ・ 英語を母語とする受験生は「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-M3)を本専攻に予め提出することにより上記成績証明書の提出を免除し、口頭試問で英語力を評価する。なお、後日虚偽の申請を行ったことが明らかとなった場合には合格を取り消す。
- ・ TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。  
 TOEFL: ETS Japan 合同会社  
 TEL: 0120-981-925、[https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/inquiry.html](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/inquiry.html)  
 TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会  
 TEL: 06-6258-0224、<https://www.iibc-global.org/toEIC.html>  
 IELTS: (公財)日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852  
 (公財)日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286  
<https://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

## (2) 筆記試験(400点/1000点)

都市環境工学に関する基礎及び専門分野から出題する。ただし、あらかじめ、志望する分野の指導教員と相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式-M1)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を日本語または英語から選択し、提出すること。

## (3) 口頭試問(400点/1000点)

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容と修士課程での研究計画について、コンピュータとプロジェクターを用いて口頭発表(10分以内)し、試問(口頭発表とあわせて30分程度)を実施する。また、「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-M3)を提出した受験生は英語力も評価の対象とする。

## (4) 有資格者及び合格者決定法

総得点(1000点満点)が500点以上の者を有資格者とする。有資格者の中から合格者を決定する。

## VI. 試験時の希望言語調査及び別途提出書類

(様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること)

### (1) 外国人留学生に対する試験時の希望言語調査について

当専攻修士課程を志願する外国人留学生は、志望する分野の指導教員と十分相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式-M1)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を日本語または英語から選択し、2022年12月8日(木)午後5時(必着)までに、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛(都市環境工学専攻 入試担当)へ提出すること。期日までに提出がなかったものは日本語で筆記試験、口頭試問を行うこととする。

#### 【備考】

- ・ 書類提出期限: **2022年12月8日(木)午後5時(必着)**
- ・ 提出先: 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
 京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛  
 都市環境工学専攻 入試担当  
 TEL: 075-383-2967

### (2) 別途提出書類について

出願手続にあたっては、募集要項7ページ、Ⅲ(ii)の工学研究科に提出する出願書類等の他に、下記の書類を、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛(都市環境工学専攻 入試担当)へ提出または郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

- ・ 書類提出期限: **2023年1月6日(金)午後5時(必着)**
- ・ 提出先: 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
 京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

都市環境工学専攻 入試担当  
TEL : 075-383-2967

- ・提出書類 ① 別途提出書類届 (様式-M2)
- ② TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書。あるいは、英語を母語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-M3)を提出してもよい。
- ③ 入学後の教育プログラム履修志望調書(予備志望調査)(様式-M4)
- ④ 学習・研究計画書：  
これまでの研究成果及び進学後の研究計画を A4 判の用紙 5 ページ程度に日本語あるいは英語で記載したものを 6 部

### (3) 問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂  
京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛  
都市環境工学専攻 入試担当  
TEL : 075-383-2967

当専攻のより詳しい情報は、<http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/>を参照のこと。

## VII. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。いずれのプログラムを履修するかについては、志望と入試成績に応じて決定される。入試区分「都市環境工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- 博士課程前後期連携教育プログラム(融合工学コース)
  - ・人間安全保障工学分野
- 博士課程前後期連携教育プログラム(高度工学コース)
  - ・都市環境工学専攻
- 修士課程教育プログラム
  - ・都市環境工学専攻

なお、10 月期入学を希望する者が入試区分「都市環境工学」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、「博士課程前後期連携教育プログラム(融合工学コース)人間安全保障工学分野」に限られる。

「博士課程前後期連携教育プログラム(融合工学コース・高度工学コース)」を希望する者については、口頭試問時にコース志望に関する試問を実施する。この結果、博士課程前後期連携教育プログラムの履修が不可となった場合は、修士課程教育プログラムを履修することになる。

## VIII. 教育プログラムの内容について

### 【融合工学コース】

内容については、工学研究科 HP(「工学研究科教育プログラム」  
<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>)を参照すること。

### 【高度工学コース】

都市環境工学専攻では、「顕在化/潜在化する地域環境問題の解決」、「健康を支援する環境の確保」、「持続可能な地球環境・地域環境の創成」、「新しい環境科学の構築」を理念とし、地球環境問題及び地域固有の環境問題の解決に貢献する幅広い基礎学力、問題設定・解決能力及び高い倫理観を備えたこの分野の次世代のリーダーとなる研究者・技術者を育成します。このコースでは、1 年次から論文研究を中心として、最先端の環境研究手法を習得します。また、環境工学/科学の全領域をカバーする体系的なカリキュラムにより、工学はもとより、医学・社会学・経済学から倫理学に及ぶ環境問題に関わる様々な学理について教授します。

### 【修士課程教育プログラム】

都市環境工学専攻では、地球環境問題及び地域固有の環境問題の解決に貢献する技術者・研究者を育成します。より具体的には、「顕在化/潜在化する地域環境問題の解決」、「健康を支援する環境の確

保」、「持続可能な地球環境・地域環境の創成」、「新しい環境科学の構築」を理念として、工学技術を基盤に、アジア地域を中心とした国際的研究フィールドを含む、環境問題の現場を重視した教育・研究活動と、医学・社会学・経済学から倫理学に及ぶ学際的なアプローチを通じて、人々の健康と安心を保障しつつ持続可能社会を支える総合的な学問体系を構築し、それに基づいた人材育成を行います。

※The Japanese language version of the information provided here is to be given precedence.

## Department of Environmental Engineering

### I. Research Area Preference

Refer to the research content below, sufficiently contact and consult professors of your application category on research plans in advance, and hence select your first choice only on the application information entry page on the internet application system for admission

Preferred Research Area	Content of Research (Faculty in Charge)  (as of October 2022)
1	Environmental Design Engineering, Urban Metabolism Engineering, Environmental Plant Engineering, Resource Recycling Science, and Toxic Substances Control (Professor Masaki Takaoka, Associate Professor Kazuyuki Oshita)
2	Environmental Health, Environmental Preventive Medicine Environmental Health Engineering (Evaluation of Health Risks posed by Environmental Chemicals and Air Pollutants, Development of Methods for Environmental Health Risk Evaluation, Prevention, and Mitigation) (Professor Hirohisa Takano)
3	Water Quality Engineering, Applied and Environmental Microbiology, Water and Wastewater Treatment Engineering, Water / Resources Recycling Systems, Water Environment Management (Professor Taku Fujiwara, Senior Lecturer Taira Hidaka)
4	Environmental Risk Analysis, Environmental Risk Management, Soil and Ground Water Pollution Control, Modelling Environmental Dynamics of Pollutants, Measures against Radioactive Environmental Contamination, Monitoring of Environmental Pathogens (Professor Minoru Yoneda, Associate Professor Yoko Shimada)
5	Atmospheric and Thermal Environmental Engineering, Global Environmental Simulation, Integrated Assessment Modeling, Climate Change Mitigation Assessment, Climate Change Impacts Assessment, Environmental Policy Assessment, Environmental Economic Analysis (Associate Professor Shinichiro Fujimori)
6	Urban Sanitary Engineering, Environmental Health Risk Control Engineering, Advanced Water Purification Engineering, Risk Management of Drinking Water Quality Total Design for Waterworks System (Professor Sadahiko Itoh)
7	Environmental Quality Management, Integrated Watershed Management, Detection / Fate / Assessment of Toxicity Evaluation / Emission Control of Environmental Micro-Pollutants, Characterization of Natural Organic Matter in Aquatic Environment, Contamination in Soil /Groundwater and Remediation (Professor Yoshihisa Shimizu, Associate Professor Tomonari Matsuda)
8	Environmental Quality Prediction, Monitoring / Control / Impact Evaluation of Micropollutants and Pathogens in Wastewater and Receiving Waters, Water Reclamation and Reuse, Management of Urban Stormy Wastewater, Conservation of Aquatic Ecosystem, Contamination Sources Identification, Tracking and Management (Associate Professor Fumitake Nishimura)
9	Environmental Preservation Engineering, Recycling Systems and Waste Management, Recycling Social Systems, Environmental Safety Management of Educational Research Institutions (Professor Yasuhiro Hirai, Associate Professor Junya Yano)
10	Safety and Health Engineering, Occupational Health, Assessment of Exposure of Particulate Matter and Chemical Substances, Safety Engineering and Safety and Health Management Systems (Professor Satoshi Hashimoto, Professor Yasuto Matsui)
11	Environment Radionuclide Science and Engineering, Research on Distribution and Behavior of Radioactivity and Stable Isotope in the Environment (Associate Professor Yoko Fujikawa)
12	Radioactive Waste Management, Research on Nuclear Technology Safety and on Transition / Behavior of Toxic Materials in the Environment (Associate Professor Satoshi Fukutani)
13	Environmentally-friendly Industries for Sustainable Development, Watershed Environment Management, Littoral Ecosystem Preservation, Micropollutants Management, Water Environment and Sanitation in Developing Countries, Resources Recycling Societies (Professor Shinya Echigo, Associate Professor Shuhei Tanaka)

[Note 1] For application category 1 to 12, you can select one of the following post-entry courses: Integrated Master's-Doctoral course Program (Interdisciplinary Engineering Course: Human Security Engineering), Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course), and Master's Course Program. There is no integrated course for application category 13.

### II. Enrollment Capacity

A few people for both April 2023 Admission and October 2023 Admission

\*Those who wish to take the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering” can choose

their admission date from April 2023 or October 2023. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide their admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose April Admission or October Admission on the Kyoto University Online Application.

### III. Eligibility requirements for applicants

Refer to page 14 in the Guidelines for International Applications to the 2023 Master's Program[清家1] (April 2023 Admission) of Graduate School of Engineering, Kyoto University (“Guideline for applicants”).

### IV. Examination schedule

Monday, February 13, 2023		
Time	Examination Subjects	Examination Room
<b>9:00 a.m. to 12:00 p.m.</b>	Written examination	C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus Room 173 (1F) (subject to change)
Tuesday, February 14, 2023		
<b>9:00 a.m. to 5:00 p.m.</b>	Oral examination	C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus Room 152 (1F) (subject to change)

\*Examination dates and venue for those applying for Human Security Engineering fields in the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course) will be notified separately.

#### [Examination instructions]

- (1) Please arrive at the examination room no later than 10 minutes before the examination starts.  
For oral examinations, please gather in the waiting room for applicants (Room 107, C1 Bldg, C Cluster, (1F) Katsura Campus).
- (2) Applicants must bring their examination vouchers to the examination room and follow the instructions given by the attendant.
- (3) Writing tools for examinations are limited to pencils, fountain pens, ball-point pens, mechanical pencils, pencil sharpeners and erasers.
- (4) Applicants are advised, preferably, to not bring electronic devices, including mobile phones, in the examination room. If you do bring them into the examination room, turn them off, put them in your bag, and place the bag at the specified place. Note that carrying them with you may be considered to be an act of cheating.
- (5) Small electronic calculators may become necessary in written examinations.  
Please bring ones without program functions (bringing in manuals for the devices are not allowed).
- (6) Only a projector to be connected to PCs is provided for the oral presentations. Please bring your own PC.
- (7) Please be aware that information such as examination rooms of respective subjects and timing of oral examinations will be posted in advance on the Department board located at the west corridor of Room 191 (1F, main auditorium) C1 Bldg., C Cluster, Katsura Campus.

### V. Details of Entrance Examinations

- (1) English (score 200/1000):  
Evaluated based on transcripts of either TOEFL, TOEIC or IELTS. Refer to the [Regarding evaluation of English proficiency] below for procedures and details.

[Regarding evaluation of English proficiency]

- English proficiency will be evaluated under TOEFL Institution Code: C121 specified at the Environmental Engineering Department, based on your transcripts (“Test Taker Score Report” or “Examinee Score Report”), or “Official Score Certificate” of TOEIC or “Test Report Form” of IELTS (hereinafter referred to as “academic transcript”) that is submitted to the Department of Environmental Engineering, Graduate School of Engineering by Friday, February 3, 2023 (note that these tests must be taken after February 3, 2021), or the academic records on English in your transcript.
- If you submit one of the academic transcripts, your English proficiency will be evaluated based on both the academic transcript and your academic records on English, and the better score will be your English

score for this examination.

- In case you submit one of the academic transcript above, the following must be submitted or mailed to the C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering) by no later than 5:00 p.m. Friday, February 3, 2023. TOEFL: a copy of the above academic transcripts (a printout of the Test Take Score Report in PDF that is downloaded from the website is allowed), TOEIC: official score certificate, IELTS: academic transcripts.
- For TOEFL, we only accept academic transcripts of TOEFL-iBT (internet based test, including Special Home Edition and Home Edition). MyBest™ score is not accepted as TOEFL score. For TOEIC, we only accept academic transcripts of TOEIC Public Testing Program administered in Japan or Korea. Please note that academic transcripts from group exams such as TOEFL-ITP or TOEIC IP are invalid.
- For TOEIC and IELTS, we only accept original copies of academic transcripts. Photocopies will not be accepted. However, if the delivery of the academic transcripts is delayed, photocopies of your score on the websites will be also accepted for TOEIC and IELTS. Should there be any false findings in documents at a later stage, acceptance will be cancelled.
- Applicants whose native language is English are exempted from submission of academic transcripts by submitting the “Letter of English Proficiency Statement” (Form M3) to the Department in advance and their English proficiency will be judged at the oral examination. Should any false applications be found at a later stage, acceptance will be cancelled.
- The following are contact points for inquiries regarding TOEFL, TOEIC and IELTS.

TOEFL: ETS Japan

TEL: 0120-981-925, [https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/)

TOEIC: TOEIC Steering Committee, the Institute for International Business Communication

TEL: 06-6258-0224, <https://www.iibc-global.org/english.html>

IELTS: Eiken Foundation of Japan IELTS Official Tokyo Test Centre TEL: 03-3266-6852

Eiken Foundation of Japan IELTS Official Osaka Test Centre TEL: 06-6455-6286

<https://www.eiken.or.jp/ielts/en/contact/>

(2) Written examination (score 400/1000):

Examination topics will be chosen from basic and specialized fields in Environmental Engineering. However, consult in advance with the supervisor of the field you are applying to and select and submit whether to take the written and oral examination in Japanese or English, using the Statement of Language Preference for the Entrance Examination form (Form M1).

(3) Oral Examination (score 400/1000):

Applicants will verbally present the content of thesis research or current main research and research plans for the Master's Program using a computer and projector (within 10 minutes) and receive oral examinations (approximately 30 minutes, including time for initial presentation). Also, those who submitted the “Letter of English Proficiency Statement” (Form M3) will be evaluated for English as well.

(4) Selection of Those Who Qualify and Pass:

Those who score a total of 500 points or more (out of 1000 points total) qualify. Those who pass will be decided from among those who qualify.

## VI. Preferred language for examinations and separate documents

**(please download the forms from the website of the Graduate School of Engineering).**

(1) Survey on preferred language at examinations for international students

For international students applying for the Department's Master's Program, upon sufficient consultation with the supervisor of the field you are applying to, select whether you prefer Japanese or English in written and oral examinations, using the Statement of Language Preference for the Entrance Examination (Form M1) and



submit to the C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (person in charge of entrance examinations for the Department of Environmental Engineering) by no later than 5:00 p.m. on **Thursday, December 8, 2022**. For applicants that did not make such submissions by the deadline, the written and oral examinations will be conducted in Japanese.

[Note]

- Submission deadline: No later than **5:00 p.m. on Thursday, December 8, 2022**
- Send to: Kyoto daigaku-katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8540  
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University  
Person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering  
TEL: 075-383-2967

(2) Other documents to submit

In application procedures, apart from the application documents to submit to the Graduate School of Engineering listed in III Application Documents in 17 page of the Guidelines for applicants, submit or mail the following documents to C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering). Please be aware that some documents require time for preparation.

- Submission deadline: No later than **5:00 p.m. on Friday, January 6, 2023**
- Send to: Kyoto daigaku-katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8540  
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University  
Person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering  
TEL: 075-383-2967
- Documents to submit:
  - (i) Checklist of Necessary Documents (Form M2)
  - (ii) Academic transcripts of either TOEFL, TOEIC or IELTS. Otherwise, applicants whose native language is English can submit the “Letter of English Proficiency Statement” (Form M3) instead of academic transcripts.
  - (iii) Statement of Course Selection (Preliminary Investigation) (Form M4)
  - (iv) Research Plan:  
Six copies of about a five-page description on A4-sized paper regarding research results and future plans for research written in Japanese or English.

(3) Inquiries

C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University  
Person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering  
TEL: 075-383-2967

Please see <http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/> for details of the Department.

## VII. Selecting your course after enrollment

Three courses are available to successful applicants after their enrollment in our Master's program. Successful applicants' course assignment is determined based on their preference and entrance examination results. Applicants who passed the entrance examination for the category “Department of Environmental Engineering” can register to the following courses.

- Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)
  - Human Security Engineering field
- Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
  - Department of Environmental Engineering
- Master's Program courses
  - Department of Environmental Engineering

Courses that can be taken upon passing of entrance examinations for category “Environmental Engineering”, October Admission are limited to the Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course), “Human Security Engineering.”

**For those who apply for the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course/Advanced Engineering Course), evaluations regarding the applied course will be made at the oral examinations. If applicants fail at the above oral examination regarding Integrated Master's-Doctoral Course Programs, they will join the Master's Program course.**

### VIII. Course details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to our website (URL: <https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69>) for the details of Interdisciplinary Engineering.

[Advanced Engineering Course]

In the Advanced Engineering Course of the Department of Environmental Engineering, our philosophies are “solving surfaced/latent environmental problems,” “securing environment to support health,” “creating sustainable global and regional environment,” and “creating a new environmental science.” We aim to develop next-generation leaders of researchers and technicians with wide general academic abilities that can contribute to resolve the global/regional environmental problems, capabilities in problem identification/solving skills, and high levels of ethics. In this course, students will learn cutting edge research methods for environmental problems, focusing on research for dissertation from the first year. Students will learn not only engineering, but also various theories surrounding environmental problems such as medicine/sociology/economics/ethics through systematic curriculum covering entire areas of environmental engineering and science.

[Master’s Course Program]

The Department of Environmental Engineering will help develop technicians/researchers that can contribute to resolving environmental issues on a global and regional level. Specifically, it will hold as philosophies “solving surfaced/latent environmental problems,” “securing the environment to support health,” “creating sustainable global and regional environments,” and “creating a new environmental science.” It will also take an approach that focuses on education/research activities based on engineering technologies that emphasize environmental issues in the field, including the international research field centering on Asian regions and an interdisciplinary style that covers from medicine/sociology/economics to ethics. Through this, we aim for a comprehensive academic structure that supports the health and security of people and a sustainable society and to develop talents accordingly.